

# 令和5年度事業計画 案

## 特別養護老人ホーム ヒルズ勝沼

### 【基本理念】

『凜として襟を正し、入居者様の立場になり共感 (empathy) する』を基本理念とし、基本的な介護を大切にしていき、質の高いケアを目指していく。また、入居者、家族、施設スタッフ、地域の方々の暖かいぬくもりの中で安心して暮らせる生活環境を整備し、入居の方々が喜びや生きがいを感じながら、自分らしく安心して歳を重ねることが出来る施設づくりをめざす。

- 行動指針
  - 丁寧な言葉かけと心地よい抑揚での会話に心がけ、年功者への敬意を払った態度で対応する
  - 笑顔であいさつをし、心地よいと感じられる態度で振る舞う
  - 相手の立場にたった思いやりの心で対応し、相手の気持ちに寄り添い共感する
  - 身体機能・精神機能の維持を図るとともに、自分らしい生活が送れるように自立支援をする

### 【運営方針】

- 社会福祉法人としての意義や役割を理解した上で、法令を遵守するとともに、業務に関する規程やマニュアル・秩序を遵守し信頼性を損なわない健全な経営・運営を行う。また、地域や家庭との結びつきを重視した運営に努める。
- 入居者の意向や家族の意向を十分に配慮し、入居者の立場に立ったサービスに努め、職員自らが『自分の家族を入居させたい・自分が入居したい』と思える様な施設づくりをめざす。
- 職員のモチベーションの向上をはかり、介護福祉の未来を担えるよう努力するとともに、入居者に適切なサービスの提供、入居者がにこやかで、個性豊かに生活を送って頂けるよう『入居者本位のサービス』をめざす。
- ユニットの特徴を活かしながら、その人らしく充実した日常や、安心して生活が送れるように努めるとともに、個々のプライバシーを配慮し、入居者が今まで社会で築き上げて来た尊厳を守り大切にしていく。

## 【介護ロボット・ICTの導入、修繕計画と補助金申請】

休日数選択制度や個々の介護力がアップした事も要因にはあるが、介護の人員は開設当初と比較すると、減少傾向が伺える。介護ロボットやICTの導入を行い少人数でも負担軽減につながるようにしていきたい。また施設建設から15年が経過し修繕箇所は増加の傾向にある。大規模修繕に伴う介護ロボット・ICTの導入で申請が出来る補助金を活用し、入居者だけでなく職員も安心して仕事出来る環境を整えていく。

## 【健康管理】

要介護3以上の入居が義務付けられ、身体面・精神面等重度の方の入居が多くなってきた事を考慮しながら、日々の変化に早く気付き、看護・介護、嘱託医・協力病院と連携を図り、早めに対応していくことで長期入院による、ADLの低下につながらない様に努め、安心して生活できるようにしていく。

看護・介護職員の毎日の声掛け等による日々の健康状態の把握、医学的管理、ADLの向上等を中心としたケアサービスを行っていく。

## 【感染症対策】

感染症等に対する抵抗力が弱い高齢者が生活する場であり、感染が広がりやすい状況にあることを認識し、感染症・食中毒を予防する体制を整備していく。

新型コロナウイルスは5類相当の位置づけになるが、高齢者施設の為、職員が感染することで、適切な人員配置やサービスの提供が困難になることから、日頃より体調管理に努める。出勤時にはアルコールでの手指消毒や非接触体温計での検温と体調管理自主点検表の記入を行い、施設内へウィルスを持ち込まない様にしていく。感染拡大を防ぐため、マスク着用の徹底や場合により保護ゴーグルを着用して、入居者への感染予防と職員同士が濃厚接触者にならない様今後も対策を行う。

感染予防委員会の委員が中心となり、施設内の温度・湿度を適切に保ちながら換気も行い、次亜塩素酸ナトリウムやアルコールを使用しての清掃を実施していく。また、発生時には看護職員や感染予防委員会が中心となり、入居者や職員の体調の変化を把握して感染拡大にならない様、迅速で適切な対応に努めていく。

職員教育として、少なくとも年2回感染予防に関するガウンテクニック等の施設内研修を開催し、感染に対する知識と対処方法の習得を図っていく。

感染リスクを伴う行動は、プライベートでも控えるよう職員全員に協力を仰いでいく。

## 【口腔ケア】

協力歯科医院や歯科衛生士と連携を図りながら、専門的口腔ケアや経口維持加算の算定を行い、日々の口腔ケアのなかで、入居者の口腔内の衛生や嚥下機能の向上・食べる喜び・誤嚥性肺炎のリスクの軽減・認知症予防及び改善・感染症罹患へのリスク回避等に繋げていく。また、施設内・施設外研修に参加していくことで、口腔ケアの技術・知識の向上に努めていく。

## 【栄養管理】

食事は楽しみの一つであり、個別ケアの大切さが求められるため、栄養マネジメント実施により心身ともに健康的な栄養管理に努めていく。陶器の銘々皿で配膳し、より家庭的な雰囲気作りや、フロアごとのセレクトメニューによるバイキング形式などメニューや提供方法の工夫をしていく。個々に嗜好調査を取り入れ入居者に、より喜んでもらえる幅広い食事提供を行ない、ユニットでのお菓子作りや簡単な調理等を取り入れながら、作る楽しみや食べる楽しみを提供していく。

## 【事故防止の取り組み】

入居者一人一人の行動を把握し、何が事故やアクシデントに結び付くのか情報の共有をはかるとともに、事故防止委員会が中心となり、事故再発防止対策の検討及び、危険予知トレーニング研修等による職員の意識向上と環境整備を行なっていく。

要介護3以上の入居が義務付けられ、介護負担は増えてきている。入居者と職員の安心・安全を図るため、見守りロボットや見守りセンサー、ナースコールとスマホ等タブレット端末との連動を図れるよう、Wi-Fi等の整備をしていく。

## 【身体拘束・虐待ゼロの取り組み】

身体拘束は、人権擁護の観点から問題があるだけでなく、入居者のQOLを根本から損なう危険性を有している。身体拘束によって、身体機能が低下し寝たきりにつながる恐れがあることや意欲低下、また拘束を外そうとしての重大事故が起こる可能性を踏まえ、マニュアルに沿った取り組みを行い、身体拘束ゼロを維持するよう努めていく。しかし、緊急やむを得ない場合においては、管理者・身体拘束禁止委員会の委員が中心となり、慎重に協議し、家族の同意のもと期間を定め行うものとする。

身体拘束も虐待につながることや、虐待について職員一人一人が理解するとともに、職員のストレス軽減を個人や施設全体で行っていきながら虐待防止につなげていく。

不適切な言葉の使い方や、態度・対応に職員同士で注意し合い質の向上に繋げていく。

## 【ターミナル（看取り）ケア】

『その人らしさ』を大切にし、ご本人の希望・ご家族の希望に出来る限り応えていきながら、ご本人やご家族とコミュニケーションを密にとり、安心した日々、穏やかな日々を送って頂けるように他職種協働で関わりをもっていく。「ヒルズに入居して良かった」と思ってもらえるよう『寄り添うケア』をしていく。

新型コロナウイルスは5類相当に移行となるが、感染予防を図りながら、直接面会を行っていく。

## 【介護体制】

要介護度3以上の方が入居対象となる中、入居者のADLの低下に伴い、介護量が増えてきている。安心・安全にケアが出来る備品や職員の負担を軽減出来る介護補助用具の整備・購入をしていく。

『介護技能実習制度』等の活用や、元気なシルバーの雇用等を検討し人員不足にならない様にしていく。

## 【人材確保・育成】

介護福祉施設ではマンパワーが必要不可欠である事や、入居者へのきめ細かいサービスを提供するため、人材の確保・育成が必要である。職員一人一人が必要な知識・技術を習得出来るよう、施設外の研修に参加する機会を提供し、高齢者介護の専門職としての資質の向上に努めるとともに、職員のモチベーションを低下させないように、精神面のフォローも行っていく。

施設内研修では、職員自らが研修の立案・企画・開催に係わる事で、学習意欲の向上に繋げていく。同様に、新人職員の早期離職を防ぐ為、技術面・精神面も含めた育成を行っていく。

人材確保では、福祉専門職の育成の場として、実習生(学生・資格取得)を積極的に受け入れ就労に繋げていくとともに、人材紹介の活用や外国人介護労働者の受け入れも視野に入れていく。

## 【介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・ベースアップ加算】

『処遇改善加算Ⅰ』『特定処遇改善加算Ⅰ』を引き続き申請していく。昨年10月より処遇改善支援補助金がベースアップ加算となり、ご家族からもご負担いただくものとなった。

処遇改善等の加算はキャリアアップの意欲向上と、入居者へ質の高いサービスの提供を求められている事を十分に理解して、専門職としての意識向上及び技術の向上に努めていく。

## 【家族交流】

入居者にとって、快適な生活の場とするためには、家族の協力とかかわりは欠かすことが出来ない。家族と離れて生活することから生じる精神的・心理的不安の解消に努める。入居者及び家族が安心して生活できるようこまめに連絡をとり、家族交流を援助・支援していく。また、月に1度『ヒルズ通信』を発行し、日々の様子や施設内行事のご案内や、ユニット、フロアでのレクレーションを企画することで、面会及びレクレーションへの参加の機会が多くなるような働きかけをしていく。

新型コロナウイルスが5類相当の位置づけになるが、高齢者施設と言う事を考慮し、感染予防に配慮した上で直接面会やリモート面会及び、定期的に入居者様の様子を写真や手紙等で伝え、入居者や家族の不安を軽減していく。

## 【地域社会との交流】

入居者の多くが、外出の機会が少ないことを考慮し、各種関係団体（ボランティア・近隣の小学校・保育園等）の協力を得て、各種行事に参加して頂きながら地域との交流を推進していく。ボランティア活動をして頂くだけではなく、ヒルズとして地域社会に貢献出来るボランティア活動に参加する機会を作っていく。

また、外出の際には、地域と触れあえる様に、公共施設を利用し社会との交流を推進

していく。

施設の情報発信の一環として、ホームページを活用し、ご家族・地域社会・就労希望者等の方々に、当施設がより身近なものになるように情報発信していく。

個々の要望に出来るだけ応えていきながら、お買い物や食事会等で外出の機会を設け地域とのふれあいだけでなく、個別ケアへと繋げていく。

新型コロナウイルスが5類相当の位置づけになるが、高齢者施設と言う事を考慮し、感染状況等を踏まえ外出等は検討していく。

## 【空床型 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護事業】

空床が出た際には、地域の居宅介護支援事業所への情報提供やグループ施設との連携をはかり、感染状況を留意した上で、出来るだけ空床利用して頂けるようにする。短期利用から本入居へ移行して頂けるような働きかけを行っていく。空床でのショート利用が円滑に進むよう、生活相談員・ケアマネージャーの増員、送迎車両の購入も検討し、家族協力を頂いていた病院受診を施設対応も出来るようにしていき、利用（入居）しやすい環境を構築していく。

## 【防災対策】

災害時に必要な物品を順次整備していく。また、ライフラインが止まった際にも安心して生活して頂けるように、自家発電等の整備を行うとともに、通常の給食提供が出来なくなった事を想定した炊き出し訓練等も行う。あらゆる災害を想定し、災害時の出勤人員の確保、就労時必要な備蓄等の準備をしていく。

## 【令和5年度 施設全体行事予定】

- 7月 七夕
- 8月 お盆の法要（14日又は15日）
- 9月 秋祭・敬老会（15日・金）
- 12月 クリスマス会（15日・金）
- 1月 もちつき会（12日・金）
- 2月 節分・豆まき（2日・金）
- 3月 ひな祭り

- 誕生会・・・その月の誕生者をユニットの入居者と職員で祝う。
- ヒルズ喫茶・・・月2回地域交流スペースにて開催し、手作りおやつやお茶を味わいながら、入居者同士の交流を深め、和やかな時間を過ごして頂く。（他フロア感染が無いように留意していく）
- フロアセレクト・・・給食委員と管理栄養士が中心となり、入居者の要望をふまえ、楽しい食事の時間になるよう工夫していく。

（感染状況に応じて開催検討）

- バスハイク・・・春のお花見の頃。秋や紅葉の頃。
- 家族会食・・・誕生月の入居者とご家族での昼食会を楽しんで頂きながら、他家族との交流を深めていく。

## 【ユニット目標・活動】

### <西町1丁目>

- 目標・・・● 感染予防に努める
- 出来るだけ本人の能力を活かし、維持出来るようにする

活動・・・	4月	花見・散歩	10月	ゲーム
	5月	おかし作り	11月	かざり作り
	6月	小物作り	12月	クリスマスのおかし作り
	7月	流しそうめん	1月	DVD鑑賞
	8月	スイカ割り	2月	バレンタインチョコ作り
	9月	カラオケ	3月	ゲーム

### <西町2丁目>

- 目標・・・● 1人1人に合ったケアを行っていく
- 感染対策をしっかりと
  - 変化に気付き、しっかりと申し送る

活動・・・	4月	カラオケ	10月	ボーリング
	5月	中庭の散策	11月	カラオケ
	6月	ボーリング	12月	ケーキ作り
	7月	流しそうめん	1月	書道
	8月	すいか割り	2月	おかし作り
	9月	かき氷作り	3月	中庭の散策

### <東町2丁目>

- 目標・・・● その人に合ったケアを模索してできるケアをしていく
- 感染対策を1人1人しっかりと行う

活動・・・	4月	カラオケ	10月	ボーリング
	5月	中庭の散策	11月	カラオケ
	6月	ボーリング	12月	ケーキ作り
	7月	流しそうめん	1月	書道
	8月	すいか割り	2月	おかし作り
	9月	かき氷作り	3月	中庭の散策

### <西町3丁目>

- 目標・・・● 感染予防をしっかりと行う
- 明るく楽しく生活出来る様に環境作りをする
  - 外の空気にふれる機会を作る

活動・・・4月	お花見(中庭でお弁当)	10月	中庭でお弁当
5月	中庭散策・体操	11月	屋上から紅葉狩り
6月	七夕飾り作り	12月	クリスマスケーキ作り
7月	かき氷作り	1月	新年の目標・習字
8月	スイカ割り	2月	おたのしみ会
9月	中庭で外気浴・体操	3月	おはぎ作り

### <東町3丁目>

- 目標・・・● 感染予防をしっかりと行う
- 明るく楽しく生活出来る様に環境作りをする
  - 外の空気にふれる機会を作る
  -

活動・・・4月	お花見(中庭でお弁当)	10月	中庭でお弁当
5月	中庭散策・体操	11月	屋上から紅葉狩り
6月	七夕飾り作り	12月	クリスマスケーキ作り
7月	かき氷作り	1月	新年の目標・習字
8月	スイカ割り	2月	おたのしみ会
9月	中庭で外気浴・体操	3月	おはぎ作り

### <西町4丁目>

- 目標・・・● 職員同士の情報の伝達、共有
- 個別ケアの確立

活動・・・4月	お花見会	10月	運動レク
5月	カラオケ大会	11月	カラオケ大会
6月	七夕飾り	12月	クリスマスケーキ作り
7月	流しそうめん	1月	新年会
8月	すいか割り	2月	チョコ作り
9月	お団子作り	3月	おはぎ作り

### <東町4丁目>

- 目標・・・● 基本的ケアの振り返り、1人1人のニーズを引き出し、寄り添ったケアをしていく

活動・・・4月	お花見会	10月	運動レク
5月	カラオケ大会	11月	カラオケ大会
6月	七夕飾り	12月	クリスマスケーキ作り
7月	流しそうめん	1月	新年会
8月	すいか割り	2月	チョコ作り
9月	お団子作り	3月	おはぎ作り

## 【その他】

- 消防訓練  
消防訓練 年2回  
避難誘導・通報・消火訓練・炊き出し訓練  
不審者対応（警備会社依頼）
- 職員会議  
業務全般・処遇 月1回開催
- 各種委員会  
2～3ヶ月に1回開催
- 職員研修  
施設外研修 随時  
施設内研修 感染症予防・事故防止・高齢者権利擁護 他  
（オンライン研修・対面研修）  
勉強会 随時  
施設内事例発表会